

ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式を開催

～相馬市の児童クラブ3団体が審査員特別賞を受賞～

日本損害保険協会東北支部福島損保会（会長：小林 秀次・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社福島支店長）では、この度、「ぼうさい探検隊マップコンクール」で審査員特別賞を受賞した相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ（いるかクラブ）、川原町児童センター（みつばち防災探検隊）、西部子ども公民館放課後児童クラブ（こすもすクラブ）の3団体合同で表彰式を行いました。

日本損害保険協会では、子どもの安全教育の推進のため「ぼうさい探検隊マップコンクール」を開催しており、第20回となる今年度は、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防団など658団体から8,904人が参加し、1,708作品が寄せられました。

3月1日に川原町児童センターで行われた3団体合同の表彰式では、小林会長から子どもたちに賞状と副賞等が贈られるとともに、各マップについて、次のとおり評価ポイントの紹介がありました。

- いるかクラブ：日常生活における小さな変化や危険に気づく防犯意識の醸成が図られており、日頃からの地域とのつながりを活かして地域全体で防犯に取り組みたいという思いが込められている、等
- みつばち防災探検隊：災害伝言ダイヤルの活用、公衆電話の使い方や被災地外を通じた“三角連絡報”などについて学び、その重要性を子どもの視点でマップ上に表現できている、等
- こすもすクラブ：高齢者の多い地域であることを踏まえ、単身高齢世帯などに対して自分たちができることとして、コミュニケーションによる支援を提言しており、高い教育効果性がうかがえる、等

表彰式の模様は市政だよりに掲載予定であるとともに、マップは相馬市役所にも掲示されることになっており、市民の皆さんに広く周知を図ることとしています。



いるかクラブの作品



みつばち防災探検隊の作品



こすもすクラブの作品



左：小林会長からの贈呈
右：児童との記念撮影

以上